

大府市カーボンニュートラル推進生産設備導入支援補助金
事業計画認定申請書

令和7年6月2日

大府市長 様

申請者 所在地 **大府市中央町五丁目 70 番地**
名 称 **株式会社大府**
代表者氏名 **代表取締役 大府太郎**

「事業目的と概要」、「事業予定期間」、「経費見積額」など記載内容について、第2号様式と整合が取れているか確認

大府市カーボンニュートラル推進生産設備導入支援補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり申請します。

事業の目的と概要	2027年に蛍光灯の生産が中止されることをきっかけに、工場内の既存照明をLED照明に更新することで光熱費の削減を図る。			
事業予定期間	令和7年10月1日～令和7年12月1日			
経費見積額	1,000,000円 ※税抜			
補助対象設備の種類	☐ 生産設備	☒ ユーティリティ設備		
その他の補助金等の申請の有無	☐ 有 (補助金等の名称) (補助金等の額 円) ☒ 無			
認証取得状況	☒ あいち女性輝きカンパニー認証 ☐ 健康経営優良法人認定 ☐ 大府市働きやすい企業表彰		※認証書の写しなど証拠資料を添付	
連絡先	所属・部署	産業振興部	担当者氏名	大府 次郎
	住所	大府市中央町五丁目 70 番地		
	電話番号	0562-45-6255	FAX番号	0562-47-7320
	メールアドレス	shoko@city.obu.lg.jp		

【添付書類】

- 実施計画書（第2号様式）
- 企業の事業概要が分かる書類（会社案内の冊子又はウェブサイトの写し）
- 補助対象設備の詳細が分かる書類（見積書、カタログの写し、国の省エネルギー投資促進支援事業費補助金の補助対象設備に登録された設備であることを確認するため、当該設備の

実 施 計 画 書

事業計画の詳細	(1) 設備投資の目的 2027年に蛍光灯の生産が中止されることをきっかけに工場の既存照明（天井蛍光灯、誘導灯）をLED照明に更新することで、光熱費及びCO2排出量を削減することを目的とする。
	(2) 設備投資の効果予測 省エネ最低化診断報告書において、天井蛍光灯と誘導灯をLED化することにより、それぞれ10.6、1.9[t-CO2]の削減が期待できる。また、光熱費においても@@円ほどの削減が期待できる。
	(3) 事業スケジュール 1 発注日 令和7年10月1日 2 施工日 令和7年11月1日 3 支払日 令和7年12月1日

省エネ最適診断等報告書もしくはメーカーからの証明書などを根拠に、CO2削減量を記載してください。
※根拠資料を提出してください。

経 費 の 内 訳 (※1)						
設備区分	メーカー名	製品名	型番	台数	金額(税抜)(※2)	CO2削減効果(※3)
ユーティリティ設備 (制御機能付きLED照明器具)	@@電機	×××	△△-abc	10	900,000円	10.6[t-CO2]
ユーティリティ設備 (制御機能付きLED照	@@電機	□□□	△△-def	1	100,000円	1.9[t-CO2]
メーカー名、製品名、型番等は正確に記載ください。 国の省エネルギー投資促進支援事業費補助金(Ⅲ)設備単位型の補助対象設備に登録されている設備となります。 ※設備の登録型番が記載されたウェブページを印刷したものと及びカタログの写しを資料として添付してください。					補助対象経費は「購入費」、「設置費」、「設計費」のみです。 ※撤去費等は対象外です。 ※見積書の添付が必要です。	
合 計					1,000,000円	12.5[t-CO2]

見本

社会福祉法人省エネ会 様

令和 7年度

省エネ最適化診断報告書

令和 7 年 6 月

一般財団法人省エネルギーセンター

整理番号	B253999	診断日	令和 7年 5月15日 木曜日
診断先名	社会福祉法人省エネ会 特別養護老人ホーム 省エネ園		
用途	病院(介護・福祉)		
診断先対応者	管理部 管理課長 省エネ太郎 様 他1名		
診断者	エネルギー使用合理化専門員 田町一郎		
連絡先	一般財団法人 省エネルギーセンター 診断指導部 高輪太郎 TEL:03-5439-9733 FAX:03-5439-9738		

FB25-01

I 省エネルギー診断結果総括

2. 省エネルギー改善提案一覧

- ・ 今回の省エネ診断では、投資5年以下の投資回収期間で実施できるものを3件(削減額約1万円)を掲載しています。
- ・ 投資の伴わない提案について、削減額が大きいものもあります。また回収年が短いものもあります。
- ★ 提案No.1～5は投資不要で運用に注意が必要です。提案No.6～7は投資回収期間5年以下です。提案No.8～10は投資回収期間5年超です。
- ・ エネルギー削減量、投資額は概算値です。実施に当たっては貴施設で詳細検討を実施してください。

補助金対象設備は、省エネルギー診断報告書の「改善提案」項目に記載されている必要があります。

＜この例で申請できる設備＞
「LED照明設備」
→ No9, 10でLED照明への更新が提案されているのでユーティリティ設備のLED照明を申請することができます。
→ その他設備については、改善提案に記載がないため補助金対象設備として申請ができません。

No	改 善 提 案	原油換算		削減額	投資額	回収年	CO2削減量
		削減量 [kL]	削減率 [%]	[千円]	[千円]	[年]	[t-CO2]
1	空調設定温度の緩和	1.5	0.7	140	—	—	2.8
2	温水ボイラの運用変更	1.5	0.7	132	—	—	4.2
3	空調室外機のフィン清掃	—	—	—	—	—	2.3
4	天井照明の間引き	—	—	—	—	—	1.2
5	温水ボイラの空気比低減	—	—	—	—	—	1.3
6	給湯、暖房用温水ポンプのインバータ化	—	—	—	—	1.1	5.9
7	節水型シャワーヘッドへの交換	—	—	—	—	0.1	1.4
8	太陽光発電設備導入 自家消費	—	—	—	—	9.1	21.1
9	天井蛍光灯のLED灯化	5.6	2.6	521	3,800	7.3	10.6
10	誘導灯のLED灯化	1.0	0.5	96	658	6.8	1.9
計		22.1	10.5	2,532	14,128	—	52.7

補助金活用を検討している場合は、省エネ最適化診断の申し込みのタイミングなどで、更新を検討する設備について「改善提案」項目に補助対象設備が記載されるかを省エネルギーセンターに事前に確認ください。

「CO2削減量 [t -CO2]」欄の数値を「実施計画書（第2号様式）」に記載してください。

※売電分効果：電力量2,634kWh、金額：29千円 自家消費＋売電効果額合計：1,070千円、回収年数8.7年

- ・ 投資不要の提案、投資回収期間5年以下、同5年を超える提案をそれぞれ原油換算削減量の多い順に記載しています。
- ・ 原油換算削減量は各提案の年間エネルギー削減量に原油換算係数を乗じた値です。
- ・ 原油換算削減率はそれぞれの原油換算削減量の削減率です。
- ・ 削減額は各提案の年間エネルギー費用削減額です。
- ・ エネルギー単価は貴施設より提出していただいた値です。
- ・ 回収年は投資額を削減額で除した値です。
- ・ 各提案の詳細については「エネルギー削減ポテンシャル」(詳細版)の「3.提案内容の説明」(p.7)をご覧ください。